

塾長竹岡の教え子の半数以上が医歯薬系に進学!



- ・いろいろな塾にいったけれど、晃學舎ほどおもしろい塾はなかった。
(S君 開成・東大卒 内科医)
- ・僕は駒東にいて周りに刺激されて医学部受験を考えるようになった。駒東にいてなかったら医者にはなれなかった。そして、晃學舎にいてなかったら、駒東には受からなかった。晃學舎は僕の人生の原点だ。
(Y君 駒東・慈恵会卒 脳外科医)
- ・竹岡先生は家族みたいなもんでしょ。
(T兄弟 兄 芝・北里卒 眼科医、弟 早稲田・東京医大卒 麻酔科医)
- ・三人とも各々希望する中学校に合格することができましたこと心より感謝いたしております。我家の子育ての歴史を語るに晃學舎の存在は欠かせないと思っております。
(O三兄姉妹 兄 巢鴨・群馬大学卒 泌尿器科医、姉 共立・日本歯科大卒 歯科医、妹 女子学院・東京医大卒 産婦人科医のお母様)
- ・晃學舎でこじんまりと丁寧に指導していただいて合格できたので、大学受験のときも同じような塾を探してしまっただけで、一斉授業の予備校には行く気になれない...
(K兄弟 兄 青山学院・日大医学部卒 小児科医、弟 攻玉社・東京歯科大卒 歯科医)
- ・姉に刺激されて頑張っちゃいました。(K姉妹 姉 渋渋・山梨大学医学部、妹 渋渋・東北大学医学部)
- ・いつまでも息子と娘をよろしくお願い致します。
(F兄妹 兄 芝・日大医学部卒 泌尿器科医、妹 女子学院・日本医大卒 外科医のお母様)

他塾ではワンランク下の学校どまりと言われたけれども **開成合格!**

他塾で「開成は絶対に無理」と言われた生徒さん(晃學舎第1期生)は、見事第一志望の開成に合格、その後、東京大学理Ⅲに現役で合格し、現在は内科医として活躍しています。高い指導技術で一生懸命に指導すれば、集団授業での不可能を可能にすることができると塾長竹岡は確信しています。この生徒さんが竹岡の指導の原点なのです。

ただ問題を解かせるだけでは指導にはならない!!! 図の書き方、式の書き方、ノートを使い方など、一から百まですべて教えるのが中学受験指導である!と塾長竹岡は考えます!!

2人で一緒にすると、仕事をはじめてから何日目に終わりますか。

女子学院→東大 塾長竹岡指導の生徒さんの答案

$$1 \div 12 = \frac{1}{12}$$

$$1 \div 16 = \frac{1}{16}$$

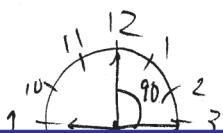
$$1 \div \left(\frac{1}{12} + \frac{1}{16}\right) = 1 \div \left(\frac{4}{48} + \frac{3}{48}\right) = 1 \div \frac{7}{48} = \frac{48}{7} = 6\frac{6}{7}$$

7日目

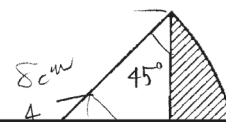
これは、女子学院から東大に進学した生徒さんの5年生のときの答案です。きれいに書ければそれだけで良いというものではありませんが、整頓して考えるためには、きちんと書くことも大切です。竹岡はその指導にも重点を置いています。ただし、残された時間が少ない6年生秋以降の生徒さんの場合は別です。きれいに書くことを特訓するより、1問でも多く演習をする方が入試で点数がとれるようになります。

$$25.12 - 8 \times 4 \div 2 = 25.12 - 16 = 9.12$$

(8) 9時と10時の間で、時計の長針と短針が一直線になる時刻



$$90 \div 5.5 = \frac{90}{5.5}$$



☆生徒さんのお家が「八百屋さん」と「サラリーマン」とでは教え方を変える
人は育った環境が違えば理解しやすい言葉の種類も違ってきます。教える者は、同じ問題の解説でも生徒さんによって、使う言葉も含めて解説の仕方を変えなくてはならないのです。それが本当の意味での「生徒さんに合わせる」ことだと思っています。

☆考え方を理解する

また、私は、新しい生徒さんの指導が始まったときには、まず、その生徒さんやご父母の考え方を理解しようとしています。それを理解できれば、生徒さんにとって最も分かり易い教え方がわかり、また、ご父母がなぜその学校に入りたいのかもわかります。つまり、生徒さんおよびそのご父母と同じ気持ちになって、入試と闘うことが出来るのです。